

平成28年
2月号

桂台地域ケアプラザ

地域交流プログラム

発行日 / 平成28年2月1日
編集・発行 / 横浜市桂台地域ケアプラザ
発行責任者 / 石塚 淳

お問い合わせ先

地域交流部門 897-1111

HPアドレス

<http://www.katuradai.com>

桂台 支えあい連絡会

検索

3月6日(日)、富士宮市の静岡県ソフトボール場でDシリーズが行われます。DシリーズのDはDementiaのこと。そうです！つまり全日本認知症ソフトボール大会のことです。今年で3回目になりますが、この大会は、認知症の方のお集まりの中で「もう一度野球をやりたい」と希望された方がいて、その夢をかなえようと動き始めたのがきっかけだそうです。昨年末にはテレビ等でも取り上げられたそうなので、ご存知の方もいらっしゃると思います。我がN・Fの会でも今年は参加希望の方がいました。ところが、その方、まだまだ身体は動けますが、何しろ20年以上ボールを握っていません。さりとて、少人数でキャッチボールをするのも心許ない。そこで、恐る恐る、近くの桂山第四公園で練習をしている『桂山・シャインズ』の方にお声をかけてみました。すると、「すぐに一緒にやろうよ」と言ってくださり、一回目の練習に参加させていただきました。皆さん、心からの紳士ばかり、マンツーマンでキャッチボール、トスバッティングなどを指導してくださいました。一緒に練習を見学に来た奥様も「こんなにすぐに受け入れてくれるなんて今までなかった事」と感激されていました。ご本人も昔の勘を取り戻し、最後は外野の頭を越えるナイスバッティング！

次の日、デイサービスに行くと「今日は何か別人のように明るいね」と職員から声をかけられ、遊びに来た奥様の友達にはご自分から積極的にお話をされたそうで「今までなかった事」と驚かれたそうです。さて、本番まであと1ヶ月、楽しみです。

2月の おしらせ



◆第16回上郷西地区世代間交流サロン「ぬくもり」◆

～かわいい「ぬくっぴー」が待ってるよ～

みんなが気軽集える“憩い”の場…それが「ぬくもり」です。手づくりの美味しいお食事を召し上がり喫茶でくつろぐ…。各種体験コーナーには、家庭ではできないことをご用意。イベントでは音楽や民族舞踊などでお楽しみいただけます。地域の皆さんによる、皆さんのための「ぬくもり」にぜひいらしてください。

日 時：3月13日(日) 11:00～15:00 場 所：桂台地域ケアプラザ内
問合せ：桂台地域ケアプラザ ☎897-1111

◆備えてあんしん終活講座◆

第3回 エンディングノート編

終活講座3回目は、昨年から栄区で配布を開始したSAKAEシニアライフノート(栄区版エンディングノート)に関する講座を開催いたします。※講座に参加された方にはSAKAEシニアライフノートをお配りいたしますが、部数に限りがあるため、自分のライフノートをお持ちの方はご持参をお願いいたします。

日 時：2月27日(土) 14:00～16:00
会 場：桂台地域ケアプラザ 多目的ホール
講 師：乾 諭(いぬいさとし)行政書士(乾行政書士事務所)
定 員：30名程度
申込み：2月26日までに電話でお申込み下さい。☎897-1111

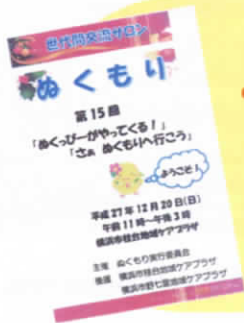
平成27年度 介護者教室(第5回)

介護について語る

～自宅での看取りについて～

今回は、実際に自宅での看取りを経験されたご家族の方やかかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャー等の直接の声を聞いてみようという講座を企画しました。ご参考になる事も多いと思います。ぜひ、ご参加をお待ちしております。

日 時：3月19日(土) 13:30～15:00
会 場：桂台地域ケアプラザ 多目的ホール
定 員：30名程度(介護者の方、支援者の方、一般の方)
申込み：3月18日までに電話でお申込み下さい。
☎897-1111



上郷西地区世代間交流サロン ぬくもり

～第15回をむかえました～

上郷西地区世代間交流サロン「ぬくもり」は“住み慣れた地域で安心して生活ができる”ことを目標にした地域福祉保健計画の地区別計画（上郷西地区計画）にそった取り組みとしてスタートしました。

その計画の、3つのテーマの中の「地域交流の場の拡充と地域デビューのきっかけをつくろう」に沿った具体的な取り組みの目玉でもあります。

<外に出にくい方も集まれる場づくり><イベントを通じた三世代交流と人材発掘><既存グループ同士の交流>をキーワードにして、平成23年6月から開始し平成27年12月20日には、第15回を迎えることができました。この「ぬくもり」からいろんな出会いが生まれ、貴重な絆となって繋がっています。

特に大切にしているのは、“食”と“イベント”。美味しい手作りの食事と大人数でコミュニケーションを図りながら食べる時間は、お一人暮らしやシニアの方はもちろんのこと、若い子育て世代にも家庭の味と家族の温かさをあらためて思い出させてくれます。ヘルスメイトさんのご協力とご指導を仰ぎ、男性料理グループによるお料理にもつながり回数を重ねています。殿方が腕をふるってくださるお料理がまた格別の美味しさを醸し出し評判になっています。第15回はクリスマスにふさわしい「カレーチキンピラフ・ポークビーンズ・サラダ・スープ」の豪華版でした。担当者が渾身の思いを込めて検討を重ねたメニューは、最高の味となって記憶にとどめられることとなりました。当初目標に掲げた、「世代を超えた交流の場・憩いの場」に育ってきたといえるでしょう。



これぞ男の料理！



観客を魅了した上郷中・吹奏楽部のポップな演奏とキュートなダンス

注目すべきイベントには、関係者の知恵と情報力を結集し、身近な地域から遠方まで、演奏・舞踊など幅広いジャンルから団体をお呼びし、楽しく珍しい芸能を披露して頂いています。お子さんたちの日本舞踊やバレエ、フラダンス、ヒップホップダンスなどはかわいらしさをみんなの目が釘付けになりました。また、近隣中学校からの盛大な吹奏楽部の演奏があったり、小学校の生徒さんによる作品展示があったり、手作り感と一体感のある感動の多い「ぬくもり」です。

各種体験コーナーも年々充実し、お子さんが目を輝かせて生命の大切さと神秘を教わる昆虫講座、ボランティアグループや子ども会の皆さんが日々の活動の中で作り上げている小物の展示即売会、季節の風物詩であったり日本の伝統品であったり、いずれも訪れる人たちに“温もり”と“愛おしさ”を伝えています。

平成28年度からは、第3期地域福祉保健計画が始まります。上郷西地区では、新たに【みんなが主役の明るいまちに】をテーマに「ぬくもり」を継続していく予定です。第15回にお披露目された、地域のシンボル「ぬくっぴー」と共に、誰もが気軽に参加し、楽しみ、活躍できる場として発展させていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

皆さんの貴重なご意見等もお待ちしております。（桂台地域ケアプラザ 担当：佐川）

阿波踊り
～女性和太鼓グループ
「MIKAWA」の演奏に
乗せて～



ぬくっぴー初登場！



上郷小学校3年生の色彩豊かな絵画

1、ぬく ぬく ぬく ぬくっぴー
ひよこの国から来た妖精
ぬく ぬく ぬく ぬくっぴー
ハートのほっぺがかわいいね
だれかとお話ししてみたい
おはよう ポンジュール ごきげんよう
おやすみ ポンニューイ ごきげんよう
ぬくもりに行けば会えるかな



ぬくっぴー誕生!



この度の記念すべき第15回に向けて、皆さんにいっそう親しんでもらおうと、マスコットキャラクターの製作を企画しました。マスコットのデザインと名前の募集から始まり、最後はオリジナル曲と踊りもできあがりました。公募作品の中から選ばれたものは、かわいいひよこをモチーフとした「ぬくっぴー」！ デザインを考案したのは、八木穂乃佳さん。名称を考えたのは、福森千夏さん。お二人とも“ぬくもり”の名にふさわしい「温かみと優しさ」を表現してくださいました。また、ぬくっぴーストラップを作成くださったのは、手作り工房「ちくちく」の皆さん。バッグや携帯等につけられた姿は、とっても愛くるしいと評判です。そしてぬくっぴーの生みの親（製作者）は1月14日付のタウンニュース「人物風土記」にも登場した野村めぐむさん。彼女の手はまさしく魔法の手。洋服のデザインから小物、お菓子など、何でもござれ！ この着ぐるみの大作も僅か1ヶ月で作りに上げてくださいました。

このように多くの方々のアイデアと協力を経て、第15回の当日を迎えたのです。上郷中学吹奏楽部の生徒さんが堂々と曲を奏でるなか、颯爽と登場。多くの観客から「おお、かわいい〜!!」とどよめきが起こりました。そしてサプライズは、ぬくっぴーのテーマソング「ぬくもりに行こう」です。作曲を手掛けたのは、生方岩夫さん。独学で習得した作曲技術を駆使され、吹奏楽用に編曲してくださいました。作詞者は当ヶアプラザの石塚所長です。デザイン画を見るや書いてみたという詞は3番まであり、韻を踏んで、サビの部分が心地よく響いてきます。そして、くでん学童の皆さんによる「ぬくもりに行こう」のダンス（振り付け）は、覚えやすく自然と体が動いて、思わず笑みがこぼれ心が軽やかになるものでした。

生方さんと推薦者の大森さん（ぬくもり実行委員）からコメントをいただいたのでご紹介します。

生方さん……私が「ぬくもり」のイベントを知ったのは、ボランティアグループ「たんぼぼ」の代表・大森さんからの話で初めて知りました。「たんぼぼ」のイベントだった「童謡を歌う会」のテーマソング「ふるさと・たんぼぼ・いたち川」の作曲をさせていただいたのが、昨日のように思い出されます。今回の「ぬくもりに行こう」の件も、大森さんの方から話があり、作曲をさせていただき、ついでに編曲も、と言われて吹奏楽用に書き上げた次第です。ご感想は如何でしょう。ありがとうございました。

大森さん……「ぬくもり」は参加者の笑顔に会えることを何よりの楽しみに実施しています。今回の作曲者生方さんも、イベントの雰囲気をしっかり理解して素敵な曲を作ってくれました。「ぬくっぴー」や「ぬくもりに行こう」が次々と誕生したのも実行委員の情熱と地域力の賜と自負しています。



このように、多くの方の関わりがあり、ぬくっぴーが誕生しました。みんなのぬくっぴー！です。ぜひ、たくさん可愛がってあげてください。

くでん学童のダンス

